

『さっきゃま魂』

R5. 10. 12 第12号

発行人：校長 中山 末永

小体連で磨いた力



10月11日(水) 五島市小学校体育連合大会が開催されました。9月17日に運動会を終えた5・6年生の子ども達は、ゆっくり休む間もなく、大会に向けて準備を進めてきました。

10月になっても暑さが続きましたが、1日の学習で疲れた放課後の時間だけではなく、朝の練習にも熱心に取り組むなど、一人ひとりが自分の目標をもって意欲的に練習してきました。目標に向かって努力を続ける『**錬磨の心**』に磨きがかかり、一段とたくましくなったと感じました。

大会当日、会場に着いた子ども達は、「おはようございます！」と競技場に向かって挨拶をしました。その声は14名のものとは思えないほどのボリュームで、いつもの「**にこにこ挨拶**」にプラスして気合いも感じる事ができ、この大会にかける子ども達の熱い思いが伝わってきました。

開会式では、閉校・休校する学校の代表児童が選手宣誓を行いました。

「**崎山の子どもは、一番元気があって良かったですね。**」

私の近くにいた他校の校長先生から声をかけられました。代表の子どもはもちろん、他の子ども達も、正しい姿勢で話を聞き、相手の話にきちんと反応するなど立派な態度で式に参加していました。競技以外のところでも、真剣に取り組む姿は、見ていてとても気持ちの良いものでした。

競技中に感じたのは、子ども達の引き締まった表情、がむしゃらに走っている顔でした。上位を目指して、最後の最後まで諦めない走りを見ながら、運動会で身に付けた「**全気全力**」の心が生きていたと感じました。

もう一つ嬉しかったのは、選手紹介後の返事です。私は、終日、本部席にいましたが、崎小の子ども達の「はいっ！」という力強い声は、しっかり届いていました。「**にこにこ挨拶**」「**はきはき返事**」は、本校が大切にしている姿です。それが、校外でも、きちんとできていることに、子ども達の確かな成長を感じました。



小体連を通して身に付けたものは、「体力の向上」だけではありませんでした。一つ一つの活動を通して、着実にレベルアップしていく子ども達を見ながら、今後のさらなる活躍がますます楽しみになってきました。

今朝(小体連翌日)、通学路を歩きながら、5・6年生の子ども達に声をかけました。

「**昨日の疲れは取れましたか?**」

「**足が痛いです。**」「**まだ取れていません。**」などなど・・・

疲れが残っているということは、全力で取り組んだという証拠です。でも、その言葉とは裏腹に、子ども達の表情は爽やかで、足取りも軽いなあと感じました。きっと、達成感でいっぱいなんだろうと思いました。

小体連が終わり、これからは11月10日(金)に開催される市内音楽発表会に向けての取組が本格的に始まります。子ども達の活躍の場がグラウンドからステージに変わりますが、きっと崎小最後の子どもとして、最高のパフォーマンスを見せてくれることでしょう。

今後も、残り少なくなってきた崎小での生活を、より充実したものにするために「**最後の最後まで頑張りきる**」という強い気持ちをもって取り組んでいきます。